

石橋委員（自民議連）

平成30年3月7日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）幼児教育について

幼児期の教育の重要性や、幼児教育の質の向上についてどのように考えるか、また、そのための取組について、併せて教育長の見解を伺う。

（答）

乳幼児期における教育・保育は、生涯にわたる人格形成及び小学校以降の教育の基盤を培う重要なものであると認識いたしております。

また、近年、国際的にも忍耐力や自己制御、自尊心といったいわゆる非認知的能力を乳幼児期に身に付けることが、大人になってからの生活に大きな影響があるという研究成果などから、乳幼児期の教育・保育は非常に重要であり、その質の向上に取り組む必要があると考えております。

このため、昨年2月に「遊び 学び 育つ ひろしまっ子！」推進プランを策定し、家庭、幼稚園・保育所、認定こども園等の子供が育つ環境にかかわらず、県内すべての乳幼児に、質の高い教育・保育が行われるよう、幼児教育アドバイザーの訪問指導や保育者を対象とした研修の実施、子育てに役立つ情報の提供や親子の学びの場の充実などに取り組んでいるところでございます。

来年度には、仮称ではございますが幼児教育センターを設置し、「遊び 学び 育つ ひろしまっ子！」推進プランに掲げる施策を総合的に推進することにより、乳幼児期の教育・保育の質の向上に積極的に取り組んでまいります。